



とうきょうと し
東京都からのお知らせ

あたらしい ころなういるすの びょうき について 【2020年2月25日】

あたらしい ころなういるすの びょうきが 日本や ほかの 国でも 見つかっています。

あたらしい ころなういるすの びょうきになると、熱が できたり、せきが できたり します。

あたらしい ころなういるすは せきやくしゃみで 人へ うつります。

■ あたらしい ころなういるすの びょうきにならないために 次のことを します。

- 手を 石けんや アルコールで よく 洗います
(家に 帰った とき、料理をする まえ、食べる まえ など)
- せきが できるときは マスクを つけます
- 体が よわい 人は、たくさんの人がいる ところに 行きません



■ 熱が できるときは、学校や 会社を 休みます。

■ 次の 人は、保健所 (帰国者・接触者相談センター) ※ に 電話を します。

<電話をするとき>

- せきや 37.5℃以上の 熱が 4日 つづくとき

(からだ が よわい 人は、せきや 37.5℃以上の 熱が 2日 つづくとき)

- とても 疲れたときや 苦しいとき

<保健所 (帰国者・接触者相談センター) の 電話番号>

- 平日の 朝から 夕方まで: 住んでいる ところの 保健所

東京都多摩立川保健所

〒190-0021 東京都立川市羽衣町 2-63

TEL 042-524-5171

- 平日の 午後5時から 次の日の 午前9時まで: 03-5320-4592
- 土曜日・日曜日・祝日: 03-5320-4592

<保健所の人と 相談すること>

- どの 病院に 行くか

※ 保健所: みなさんが 健康 (元気) でいることを 助ける 役所

■ 病院に 行くときは、次のことを します。

- マスクを つけます
- 電車や バスは のりません

<日本語 以外の ことばの 情報>

新型コロナウィルス について

(自治体国際化協会 多文化共生ポータルサイト)

<http://www.clair.or.jp/tabunka/portal/info/contents/114517.php>

多文化共生のひろば

外国人さんいらっしゃい!

「共に働き、共に生きる」

新しい入管法のもとで

日時：2019年12月15日(日)

午後2:00~4:20

場所：立川市アイム5階

今年の多文化共生のひろばは「2016年に多文化共生都市宣言をした都市」の『多文化共生のひろば』の第3弾として、入管法が改定となり2019年4月から特定技能という在留資格が新設されたことを受けて、「共に働き、共に生きる」というテーマで、パネルディスカッションを行いました。

The multicultural square was held on 15th Dec. 2019 (sun), titled "Welcome! Foreign workers – Work together, Live together! under the new Immigration control and Refugee Recognition Act"

This was the Third symposium after Tachikawa city declared the multicultural living together city in 2016. This year Immigration Control and Refugee Recognition Act was revised and Japan started to accept foreign working person. So this year we discussed about working together with foreigners and living together with foreigners.

今年の多元文化共存討論会は“2016年発表の多元文化共存都市宣言”の第三弾。根据2019年4月

起入国管理法新增設の“特定技能”在留資格の實施，以“共同工作，共同生存”為題，我們舉辦了這次公開座談討論會。

올해의 다문화 공생의 광장은 「2016년 다문화 공생 도시 선언을 한 도시」의 『다문화 공생의 광장』의 제3탄으로서 입관 법이 개정이 2019년 4월부터 「특정기술」이라는 재류자격이 신설된것을 받아 『함께 일하고 함께 살자』라는 주제로 패널 토론을 실시했습니다.



4人のパネリスト働く立場から2人：ナカラム・ナレス・ラルさん、釣部利男さん、雇う立場から2人：藤谷佐斗子さん、岡部栄一さんをお迎えして、1.共に働く観点から、2.共に生きる観点から、意見を述べていただきました。そのあと、フロアからの質問に答えていただき、最後に多文化共生のために今後取り組みたいことについて語っていただきました。コーディネーターはTMC副理事長の細江護夫さんでした。

We invited panelists: two from the side of employee; Mr. Nakarami, and Mr. Tsurube Toshio, the side

of employer; Ms. Fujitani Satoko and Okabe Eiichi. Four panelists stated their opinion from the viewpoint of working together and from the viewpoint of living together. After that they answered the questions of the audience. Finally they told what they wanted to work on for multicultural living together. Mr. Hosoe Tatsuo, vice chief director of TMC acted as a coordinator.

我們聘請了4位人士來參加討論，一方是以被僱傭者身份參加的：那卡拉米·那雷斯·拉魯先生和釣部利男先生，另一方是以僱傭者身份參加的：藤谷佐斗子女士和岡部榮一先生。分別從1.共同工作、2.共同生存這兩個觀點進行了討論。

之後，對來賓的質疑進行了回答。

最後為了促進多元文化共存各自發表了意見。討論會的主持人是TMC的副理事長細江護夫先生。4명의 토론자, 일하는 입장에서 2명 : 나카라미·나레스·랄 씨, 쓰르베 토시오 씨, 고용하는 입장에서 2명 : 후지 타니 사토코 씨, 오카베 에이이치 씨를 모시고 1. 함께 일하는 관점에서 2. 더불어 사는 관점에서 의견교환 하였습니다. 그 후, 관객의 질문에 대한 답변을 주셔서 마지막으로 다문화 공생을 실현하기 위한 의견을 받았습니다. 코디네이터는 TMC 부이사장 호소에 타즈오 씨였습니다.



ナカラミ・ナレス・ラールさん



つるべとしお 釣部利男さん



おかべえいいち 岡部栄一さん



ふじたにさとこ 藤谷佐斗子さん

50 人の参加者はパネルディスカッションに熱心に耳を傾けていました。アンケートの結果から、参加者はパネルディスカッションに満足したこと、外国人が共に働いてくれる町になるには何が必要かを考える良い機会となったことがわかりました。

50 audience listened attentively the panel discussion. The questionnaire showed that audience satisfied the panel discussion and that this gave them good opportunity to think about what was necessary in order that Tachikawa would become the city where foreign workers would work together.

大约 50 位的来宾非常热心地倾听了讨论。问卷调查结果大家一致认为对这次公开讨论会感到很满足，为今后如何与外国人共同工作生活，如何创建多元文化城市提供了很好的思考机会。

50 명의 참가자는 패널 토론에 열심히 귀를 기울이고있었습니다. 설문 조사 결과, 참가자는 패널 토론에 만족한 것으로, 외국인이 함께 일하는 도시가되기 위해서는 무엇이 필요한지를 생각하는 좋은 기회가 되었습니다.

外国人相談窓口 (無料)

◆相談日 毎週土曜日 (水曜日は予約制)

○第1土曜日: 中国語

○第2土曜日: 英語・ポルトガル語

○第3土曜日: 英語

○第4土曜日: 中国語

○第5土曜日: 英語

◆時間 13:00~16:00

◆場所 立川市女性総合センターアイム5階

◆運営・連絡先 NPO法人たちかわ多文化共生センター
Tel. 042-527-0310

